

キャリア教育 パワーアップシート

キャリア教育においても、PDCAサイクルを取り入れ、定期的に振り返ることが必要です。このパワーアップシートは各校の取組がより充実したものになるように作成したものです。

平成29年度の重点

- 1 キャリア教育の必要性やねらいの発信と啓発
- 2 学齢や発達の段階を踏まえた体験的な活動の充実
- 3 キャリア発達を一層促すための校種間連携の推進

1 キャリア教育の必要性やねらいの発信と啓発	(4 十分 ⇔ 1 不十分)
① キャリア教育の必要性やねらいについて全教職員で意識の共有を図っている。	4-3-2-1
② キャリア教育の視点を重視して、ふるさと教育の全体計画等に示している。	4-3-2-1
③ キャリア教育の視点で、各教科等の年間指導計画の改善を図っている。	4-3-2-1
④ キャリア教育で育成する基礎的・汎用的な能力等を基に、身に付けさせたい力を焦点化して、児童生徒に理解しやすい言葉で設定している。	4-3-2-1
⑤ キャリア教育の必要性やねらいについて、家庭や地域、企業等へ発信し、啓発を図っている。	4-3-2-1
2 学齢や発達の段階を踏まえた体験的な活動の充実	(4 十分 ⇔ 1 不十分)
① 集団宿泊活動、職場体験、インターンシップ等の体験的な活動の充実を図っている。	4-3-2-1
② 地域の活性化に貢献したり、伝統や産業等を受け継いだりするなどの体験的な活動の充実を図っている。	4-3-2-1
③ 系統的な事前指導や事後指導の充実を含め、ねらいや進め方を明確にした体験的な活動を行っている。	4-3-2-1
3 キャリア発達を一層促すための校種間連携の推進	(4 十分 ⇔ 1 不十分)
① 他校種と連携した取組を計画し、実践している。	4-3-2-1
② 授業や行事等で他校種と交流を行ったり、学校間・校種間で職場体験・インターンシップ先を共有したりするなど、連携した取組を行っている。	4-3-2-1
③ 指導要録やキャリアノート等の校種を超えた活用を通して、児童生徒一人一人のキャリア発達を支援している。	4-3-2-1

教師用リーフレット

あきたでDREAM

AKITA de DREAM

あきたのキャリア教育の一層の推進に向けて



さきたんぼまつりでの販売活動（大館市立東館小学校）



平成28年度 わか杉県政体験（義務教育課）



観光ボランティアガイド活動（横手市立増田中学校）



八5サプレの販売活動（八郎潟町立八郎潟中学校）

「第2期あきたの教育振興に関する計画」では、学校教育共通実践課題としてふるさと教育を基盤としたキャリア教育の充実を重視しています。本県の将来を担う子どもたち一人一人が「生きる力」を身に付け、様々な課題に柔軟に、たくましく対応していくことができるよう、ふるさと教育等との関連を図りながら地域に根ざしたキャリア教育を一層推進していくことが大切です。

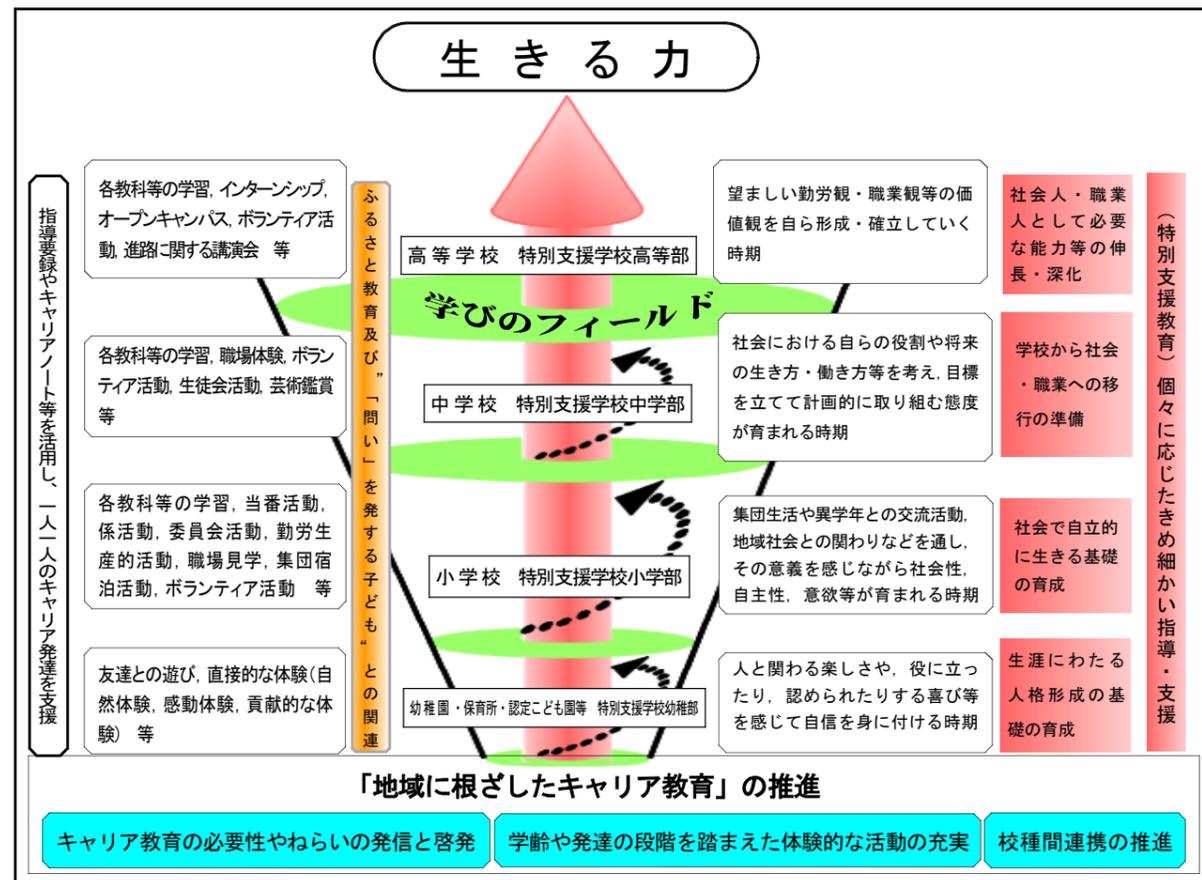


平成29年度「学校教育の指針」には、キャリア教育の重点や方向性を次のように示しています。

本県における「キャリア教育」の重点

- 1 キャリア教育の必要性やねらいの発信と啓発
- 2 学齢や発達の段階を踏まえた体験的な活動の充実
- 3 キャリア発達を一層促すための校種間連携の推進

本県における「キャリア教育」の方向性



「キャリア教育で育成する基礎的・汎用的能力」は、主に、①人間関係形成能力・社会形成能力 ②自己理解・自己管理能力 ③課題対応能力 ④キャリアプランニング能力の四つとされています。



この四つの能力を参考にして、自校の児童生徒に身に付けさせたい力を設定することが大切です。

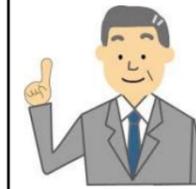


文部科学省「子どもと社会の架け橋となるポータルサイト」

このポータルサイトは、企業・事業所等が学校に対して支援できる内容(出前授業、職場見学、職場体験の受け入れなど)を登録しているもので、240社以上の企業・事務所等が登録されています(平成29年7月現在)。学校が地域・社会や産業界等と連携・協働した教育活動を一層推進するために活用できるポータルサイトです。

○アドレス <http://akehashi.mext.go.jp/search/list.php>

秋田わか杉「キャリアノート」『あきたでドリーム (AKITA de DREAM)』



キャリアノートは、児童生徒が自らの成長を実感できるよう、「目標や活動、自己評価」を継続して記録する構成にしています。教員は、一人一人のキャリア発達を十分に把握した上で、教育活動を行う必要があります。

キャリアノート 中学3年生①

最終学年の目標を決める

今の自分を見つめ、「なりたい自分」を目指そう。

将来、私はこんな自分になりたい！
困っている人がいたら、**勇気と知恵**をもって助けてあげたい。
看護師になってボランティア活動に参加したい。



この生徒は、将来の目標をしっかりとって活動してきていることが分かりました。(高校教師)

キャリアノート活用のイメージ

年度の初めに夢や目標を書かせます。そして、学年に終わりには、最初に書いたものと見比べさせながら、振り返りをさせます。(小学校教師)



※キャリアノートは、自己理解・自己管理能力を高めていくことも意図して作成しています。

キャリアノート 小学6年生①

小学6年生のわたし①

今の自分を見つめて考えをまとめ、「なりたい自分」を目指して進もう。

月 日 ()

「なりたい自分」(将来、どんな自分になりたいか)

小さい子どもにも、優しく声をかけてあげたい。

そのためにどんなことにチャレンジするか

職場見学の時に、幼稚園に行き、仕事の内容を調べたい。

これまで書いてきた夢や目標を改めて見てみると、自分が進みたい方向がはっきりしてきました。(児童)



※キャリア教育に関する学習シートを貼り付けるなどして、ポートフォリオとして活用することもできます。

キャリアノート 小学1年生①

小学1年生のわたし①

じぶんのことをおしえよう。ともだちのことをもつとしよう。

月 日 ()

じぶんのことをクラスのともだちにおしえるぞ。

じぶんのことがおえ

しょうらいのゆめ

おかあさんみたいなやさしいひとになりたいです。

秋田わか杉「キャリアノート」『あきたでドリーム (AKITA de DREAM)』は、秋田県教育庁義務教育課のホームページからダウンロードできます。御活用ください。
<http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1347936614550/index.html>